

関西サッカー協会 公式記録

会場責任者	主審サイン
世良 記子	西川 邑鶴

《略号例》 ～：ドリブル →：コロのバス □：浮球のバス H：ヘディング HS：ヘディングシュート ×：混戦 S：シュート

戦評者氏名（世良記子） 勤務先又は所属（京都橘高等学校）

立ち上がりから神戸弘陵の攻撃が続く中、前半7分神戸弘陵の⑥砂川がOKから先制点を決める。奈良育英はバランスを保ちながら組織力で対応。また、弘陵のワイドな攻撃に対し、育英はシステムを4-4-2から5-4-1に変更するも、前半0-5と一方的な展開となる。

一方的の展開となる。後半も育英は、自陣内でピンチをしのぐにとどまり、攻撃にはなかなか繋げられなかつたが、集中を切らすことなくチームワークを発揮した。試合を通して神戸弘陵の③稻垣のCKや⑩末次のシュートなど、安定した技術が見られた。経験の差が点数にあらわれる結果となつたが、互いに力を出し切る良い試合となつた。